

効果についての考察

1. 総合評価落札方式とは

総合評価落札方式とは、価格と価格以外の技術的な要素を評価の対象として、品質や施工方法等を総合的に評価し、価格と技術力の両面から最も優れたものをもって申し込みをした者を落札者とする方式をいう。

平成17年施行の品確法の理念のもと、総合評価落札方式適用が工事の品質確保のための主要な取り組みとして位置づけられた。

2. 入札結果の特徴

価格点1位以外の落札者の推移（過去5か年度）

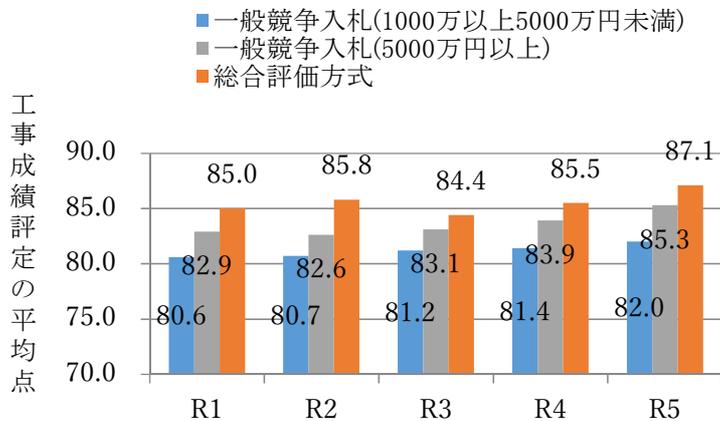
	R1	R2	R3	R4	R5
A 入札件数	58	60	50	53	56
B うち逆転件数	10	18	7	17	19
(B/A) 割合 (%)	18	30	14	32	34

【考察】

技術力の評価により価格点1位以外の落札者が約3割ある。

3. 竣工工事の工事成績の特徴

工事成績の推移（過去5か年度）



【考察】

総合評価方式は、工事成績が高く、品質が確保される。

4. 総合評価

総合評価方式は、価格のみ評価する一般競争入札と比べ

- ・技術力を持ち合わせた落札候補者との契約
- ・質の高い工事目的物の完成

という目的に対して、一定の効果が出ており、公共工事の品質向上につながっている。